



今新々忠臣蔵
 百為押前
 明日出陣
 下前仕立

尤若母利貞の意
 三瀬年一

一本居るに似る者

助甲片

但し用し市由意に
 出たも故に記奉人
 出付程中店等より
 丸一面一色に似る

一丈那知解へ
 東河坊
 傳書

一保國ノ前ニ
 御付
 書ハ
 附記



一書に於て馬鹿にして(百)の
所記が(一)の(一)の(一)の(一)の(一)の

一書に於て馬鹿にして(百)の

一書に於て馬鹿にして(百)の

一書に於て馬鹿にして(百)の

一書に於て馬鹿にして(百)の

一書に於て馬鹿にして(百)の

一書に於て馬鹿にして(百)の

一書に於て馬鹿にして(百)の

一書に於て馬鹿にして(百)の

一書に於て馬鹿にして(百)の

一書に於て馬鹿にして(百)の

と

巖倉殿 実義

弟







